

11 - 4 GEONETの名称変更について Change of the name of GEONET

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

国土地理院 GEONET は、全国 1,240 カ所に設置された電子基準点（GPS 衛星からの電波を連続的に観測する施設）と茨城県つくば市に設置された中央局（電子基準点での観測データが集約されその位置を算出し、観測データや解析結果を提供する施設）からなる GPS 連続観測システムのことです。高密度かつ高精度な測量網の構築と広域地殻変動の監視等を目的としています。

衛星測位システム(GNSS)については、日本で打ち上げ、実証実験が進められてきている準天頂衛星(QZS)をはじめ、ロシアの GLONASS、欧州連合の Galileo など、相互利用が可能な衛星測位システムの配備が進められるとともに、近代化された民生用信号の送信が開始されるなど、衛星測位を取り巻く状況が、近年大きく変化しています。また、こうした中で、特に測量分野の利用者からは、こうした変化に対し GEONET が対応していくことを要請されているところである。

このような衛星測位システムに関する動向を踏まえ、国土地理院では GEONET の更新により、各種衛星測位システムや近代化民生用信号への対応を順次進めている。

これに伴い、平成 24 年 4 月から、GEONET と電子基準点の名称を下表の通り変更し、合わせて、資料中の用語にも順次反映している。

【名称変更】

	新	旧
GEONET	<u>GNSS</u> 連続観測システム GNSS Earth Observation Network System	<u>GPS</u> 連続観測システム GPS Earth Observation Network System
電子基準点	<u>GNSS</u> -based Control Station	<u>GPS</u> -based Control Station

【衛星測位システムの動向】

	H22年度 (2010)	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H32年度 (2020)
GPS(米国)	30機 → 順次近代化					
グロナス(ロシア)	24機 → 順次近代化					
ガリレオ(EU)			2機	→ 順次整備		18機 → 30機
準天頂衛星(日本)	1機	→				2010年代後半 4機実用体制

第 1 図 GEONETの名称変更について
Fig. 1 Change of the name of GEONET system.